

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素よりJR東日本グループの経営にご理解とご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年3月期につきましては、会社発足以来初の赤字という、厳しい決算となりました。

当社グループは、この現実を厳粛に受け止め、難局を乗り越えるべく、最大限の危機感をもって対応していきます。グループ経営ビジョン「変革 2027」で示した方針のレベルとスピードを上げ、収益力の向上と構造改革に全力で取り組み、2022年3月期の黒字化をめざしてまいります。

具体的には、引き続き経営のトッププライオリティである「安全」を前提に信頼を高め、私たちの強みであるリアルなネットワークとデジタルやSuicaを掛け合わせ、新しい暮らしの提案や新領域への挑戦に取り組みます。シェアオフィスの拡大、オフピークポイント・リピートポイントの導入といった新しい働き方の応援や、列車を活用した荷物輸送の推進など、ビジネスの幅を広げていきます。また、お客さまに寄り添った「ヒト起点」の発想で鉄道を中心としたビジネスモデルを進化させるとともに、終電繰上げをはじめとした効率的な輸送体系やオフピークを進める運賃体系についての検討を進め、柔軟で強固な経営体質への変革を図ります。さらに、「ゼロカーボン・チャレンジ2050」やローカルDX、地方創生の取り組みなど、「ESG経営」を実践して、SDGsの達成に貢献してまいります。

厳しい状況は続きますが、中長期的に総還元性向40%、配当性向30%をめざす方向に変わりはなく、当社グループ一体となり、業績回復をめざしてまいります。

これからも、お客さまや地域の皆さまのご期待に応えることにより、サステナブルに社会の発展に貢献する企業グループとして、株主の皆さまのご負託に応えてまいります。何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年(令和3年)5月

代表取締役社長

深澤 祐二



目 次

■	招集ご通知	
	第34回定時株主総会招集ご通知	2
■	株主総会参考書類	
	第1号議案 剰余金の処分の件	8
	第2号議案 取締役12名選任の件	9
	第3号議案 監査役1名選任の件	19
(添付書類)		
■	事業報告	22
	事業報告には、ご参考としてグラフ、写真等を加えております。	
■	連結計算書類	
	連結貸借対照表	54
	連結損益計算書	55
■	計算書類	
	貸借対照表	56
	損益計算書	57
■	監査報告	
	連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本	58
	会計監査人の監査報告書 謄本	59
	監査役会の監査報告書 謄本	60

【表紙写真】

横須賀・総武快速線E235系とNEWoMan横浜

2020年12月から運転を開始した横須賀・総武快速線E235系と、2020年6月に開業した横浜駅西口に直結するJR横浜タワーにて、(株)ルミネが運営するショッピングセンター「NEWoMan横浜」。横須賀・総武快速線E235系の製造にはESG経営への取組み発信の観点から発行したサステナビリティボンドを活用しています。